

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

ご来場ありがとうございました

第14回 2017 Lighting Bell in NOTOGAWA



- 日時：平成29年12月16日(土)～24日(日)
- 場所：林中央公園
- 主催：ライティングベル実行委員会
- 共催：(一社)能登川地区まちづくり協議会



「みんなで作ろう！水力発電」
龍谷大学生の指導で水力発電装置を作って
イルミネーションを点灯



ご当地ゆるキャラも登場!!
「のとビー」と
「永源寺かえでちゃん」

東近江市教育委員会 *ボランティアバッジ受賞

能登川中学校生徒会美化活動 ～花壇ポット39基に～ フラ輪プロジェクト ～花でつながる地域の輪～

- 日時：平成29年11月29日(水)
- 協力：(一社)能登川地区まちづくり協議会 環境事業部員と
ボランティアのみなさん・市地域担当職員



*ボランティアバッジとは…
微笑み合うイルカの形をしたハート型のバッジ
すべての人々にやさしい気持ちがあふれ、愛の懸け橋になるような願いがこめられている。



能登川駅西口でバンジーを植える部員のみなさん

手作り教室開催

親子で楽しく協働作業で完成!

- 日 時：平成29年11月25日(土) 9:00～12:00
- 場 所：能登川コミュニティセンター
- 参加者：子どもたち30名 保護者・スタッフ約30名
- 主 催：能登川地区子ども会指導者連絡会(地区子連)

干支(戌)を題材にした色紙作品、箸・竹・木片を組み合わせて組立作品(ランプシェードなど)を作成しました。



平成29年度 自主防災活動成果発表会

- 日時：平成29年12月16日(土) 9:30～11:30
- 場所：能登川コミュニティセンター ホール
- 参加：28自治会56名
- 主催：(一社)能登川地区まちづくり協議会 安全・安心事業部

- 〈内容〉
1. 台風5・21・22号から学ぶ
 2. 自治会の防災活動事例発表
 (ア)伊庭町自治会 (イ)佐野自治会 (ウ)栗見出在家町自治会
 3. タオル方式の安否確認
 4. 次年度の取り組み提案
- 以上の内容で発表会は行われました。



今年襲来した3つの台風の特徴を踏まえた問題点などが提示されたほか、活発な防災活動を行っている自治会事例が発表されました。出席した各自治会の役員さんは、真剣に聞き入っておられました。

「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞

「特別賞」は「まち協ラジオかわらばん」が受賞

「協働コーディネート賞」は今井陸之助氏、「入賞」・「エピソード賞」は水辺の里伊庭を考える会、が受賞

- 日時：平成29年12月9日(土)
 - 場所：東近江市市民活動推進交流会わくわくこらぼ村 (ショッピングプラザアピア4階)
 - 主催：東近江市市民活動推進交流会実行委員会・東近江市
- 【受賞理由】

「特別賞」は、広報事業部活動の一つとして、FMひがしおうみラジオサイトを媒体し、毎週土曜日午前8時から30分間、能登川地区のまちづくり関連情報(自治会・お祭り・イベント・医療など)を発信することにより、住民の関心を高め、協働を促し、まちづくりの起爆剤となりました。放送は、平成29年12月30日(土)現在で第438回を数えました。



なお、この事業に最初からかかわる(一社)能登川地区まちづくり協議会の今井陸之助氏が「協働コーディネート賞」を受賞しました。

水辺の里伊庭を考える会は、後世に伝えよう!伊庭の魅力再確認プロジェクト～想いをつなぐ～の活動が評価されました。

〈能登川病院情報〉

— 地域医療に伝えるため… —



東近江市立能登川病院
看護部長 谷口智江

私は日野記念病院看護部長時の2014年10月より病院管理移行の準備に携わり、2015年4月より現職に就任しました。竹内院長と共に、昴会グループ病院のそれぞれに高い専門性と連携し、地域医療の中核的役割を果たすため、眼科・救急体制の整備を目指しました。(変革期の渦中の中心で仕事していただいた看護師は大変苦労したと思います。スタッフに感謝します。)

「真心と誠意をもって安全で安心できる看護サービスを提供します」(昴会看護部理念)を具現化し、質の高い看護を提供するためにBSC(組織力・成長力・競争力を強化し成功へと導くこと)の目標管理を導入しました。

年間約900件の眼科手術を行うため、医師、看護師、視能訓練士の眼科チームの連携を図り、短期間の入院生活が安全・安心して送れるケアを心がけています。

“救急を断らない”現在では平日日中の救急は100%受け入れています。そして、外科医2名が赴任し、腹腔鏡手術や化学療法そして外科緊急手術も行えるようになりました。

2015年「退院時アンケート」を導入し、ご意見の中から接遇などの改善などに取り組み、全ベッドを体圧分散タイプに変更できました。病棟では認知症の患者さんが増えましたが、認知症専門研修修了看護師8名が勤務し、2017年4月「認知症ケアチーム」を設立し活動しています。「能登川病院をよくする会 会話チーム」のかたがたの入院患者さんとの「会話ボランティア」は大変助かっています。

また、看護師のキャリアアップ支援研修費を予算化、今年度は糖尿病看護の長期研修に派遣し、糖尿病専門医からも期待されています。内視鏡技士や認知症ケア専門士資格にトライしている看護師もいます。2018年2月「院内看護研究・看護助手業務発表、ケーススタディ発表会」では、一人一人が日々の看護を言語化して発表できるよう自己研鑽に取り組んでいます。

今後、病児保育開始時には看護師を派遣し、能登川地区の働く人を支援するとともに、病院と地域がつながり、連携できる看護師を育成することが私の望みです。

■能登川病院をよくする会

能登川のむかし話

〔シリーズ3〕

佐野の六地藏とそのいわれ

湖東地方は、約千年くらい昔から、天台宗が広く行きわたっていました。

ところが今から約四百年くらい前、蓮如上人が近江の地にお越しになって以来、わかりやすく、ありがたい、浄土真宗の教えが広まり、天台宗から浄土真宗に改宗する村人が多くなりました。

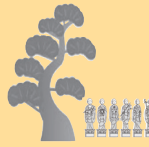
その時分のことです。この頃までは、佐野の墓地は、発願寺の約五百メートルほど上手の畑地にありましたが、浄土真宗改宗のときに、現在の山面(猪子山)に変更され、同時に、旧墓地の人口に立っておられた六地藏、墓地内の五輪塔、供養仏も他の場所へ移されたようです。

特に、六地藏は、佐野の字に四体をのこし、鍛冶屋村へ一体、佐生へ一体と分けられ、村の人々によつて今も大切にお守りされています。なかでも、鍛冶屋村の地藏は、「お乳の地藏様」として、お毎の出ないお母さん方がお参りに来られるそうです。

※佐野・佐生に属する小字

出典：「能登川のむかし話」

昭和55年能登川町教育委員会



平成29年度 市政懇話会

- 日時：平成29年11月21日(火) 19:00~21:00
- 場所：能登川コミュニティセンター ホール

<目的>

市の主要課題や地域の問題解決に向けた意見交換を行うことにより、市民と行政との協働による住みよいまちづくりを推進するため、市内10会場で開催されました。

<出席者>

小椋市長・南川副市長・藤田教育長・各部の部長・能登川支所長・能登川支所職員・地域担当職員・能登川地区自治会連合会(53自治会)・まちづくり協議会(会長・副会長・理事・コミュニティセンター館長・同職員・事務局長・事業部長等)、市から49名、地域から44名が出席しました。



下記の主テーマに沿って意見交換がなされました。

<会議内容>

- (1) 能登川地域を東近江市の副次都市として、市内を一体的に整備することについて
 - (2) 市内の一体的な水辺環境の整備について
- 以上のような件について意見が交わされ、市の取り組みや、説明が行われました。

地域のイベント

能登川コミュニティセンター

段ボールコンポスト講習会

- 時 3月3日(土) 10:00~11:00
- 主申 (一社)能登川地区まちづくり協議会 環境事業部 (IP 050-5802-2793)

能登川水車太鼓 「おかげさまで 20周年記念コンサート」

- 時 3月18日(日) 13:00~ ¥無料
- 主 能登川水車太鼓

やわらぎの郷公園

第3回まち協グラウンドゴルフ大会

- 時 3月24日(土) ¥無料
- 主申 (一社)能登川地区まちづくり協議会 施設運営事業部 (IP 050-5802-2793)

- 受付 2月13日(火)~3月12日(月)
- 定員 192名(先着順)
- * 所定の申込書にご記入の上、お申込みください。



※記号の説明：時=日時 ¥=費用 申=申し込み 主=主催

やわらぎホール

地域交流ふれあい健康広場 2018年 第18回 元気のつどい

- 時 3月4日(日) 10:00~12:00
- ◆テーマ：減塩で健康を考えよう!!



- 講演終了後はカルシウムたっぷりの減塩健康豚汁を…。

- 主 (一社)能登川地区まちづくり協議会 健康福祉事業部 (IP 050-5802-2793)

能登川ふるさとクイズ

- Q 琵琶湖原産の(固有種)のコイ科の淡水魚である「ホンモロコ」の漁獲量は、平成6年までは年間200~400トンで推移していましたが、その後大きく減少しています。現在では約何トンくらいでしょうか?



- ① 90トン ② 16トン ③ 5トン
- (解答は、2ページにあります。)

のとがわコミセンだより

平成29年度 能登川地区子ども芸術展

- 日時：平成29年12月1日(金)～12月3日(日)
- 場所：能登川コミュニティセンター ホール
- 来館者：延べ4,800人
- 主催：能登川コミュニティセンター

地域の子もたちの作品を身近な場所で発表することにより子どもたちの励みにつなげること、また多くの人々が観覧に訪れることで、にぎわいとうるおいのまちづくりに寄与することを目的に毎年開催しています。

今年は、絵画や立体、書などの作品約2,000点を一堂に展示しました。おだやかな週末で、来館者がとぎれることなく、感性豊かな作品に関心を寄せていました。



コミセン講座

栗見出在家町 魚のゆりかご水田米の米粉を使った ブッシュドノエル & ガレットづくり教室

- 日時：平成29年12月12日(火)
- 場所：能登川コミュニティセンター 調理室
- 受講生：14名
- 主催：能登川コミュニティセンター

栗見出在家町で収穫された『魚のゆりかご水田米』の米粉を使った2品を作りました。最近、ヘルシー食材としても、また小麦アレルギーの方にも安心食材として人気ですが、扱いが難しいのでは？と、思われがちです。

ブッシュドノエルは、ふわっふわにしあがり、ガレットは表面がパリッと香ばしく、中はもちもちでおいしいと好評でした。

受講生は、「難しいと思っていたが扱いも簡単で、米粉の良さを再認識した」「家でも米粉を使ったスイーツを作ってみた」と米粉を身近に感じられたようでした。



ガレット



ブッシュドノエル

第7回 能登川水車塾

迎春！お正月アレンジ体験

- 日時：平成29年12月14日(木)
- 場所：能登川コミュニティセンター ホール
- 受講生：60人
- 主催：能登川コミュニティセンター

あいとうマーガレットステーション 花工房のかたを講師に迎えて、お正月に向けた作品づくりをしました。椿の造花や南天・水引きなど華やかな素材を使って、新春の玄関やお部屋を彩る置き物をつくりました。

受講生のみなさんは、講師の説明を聞きながら自分なりのアレンジを加えた正月飾りを完成させていました。

